

職位/Position：教授 教員氏名/ Name： 目時 修/METOKI Osamu	オフィスアワー/Office hours S1/S2---火曜日 2限・昼休み/水曜日 昼休み F1/F2---水曜日 2限・昼休み/金曜日 昼休み	研究室/Office number F棟 3階308
教員の所属学会並びに社会活動・課外活動顧問など/Affiliated Academic Society & Social Activity  日本協同教育学会・日本特殊教育学会・日本生徒指導学会・日本キャリア教育学会		
ゼミ名/Seminar 公立学校教員採用試験対策研究		
2年次までに修得していることが望ましい科目/ Preferable courses should be taken before the end of second-year studies  教職論・教育課程論・道徳教育の理論と方法・教育方法論（ICT活用を含む）（4科目の修得が必須条件） また、3・4年次に教科教育法Ⅰ～Ⅳ、4年次に教育実習・教職実践演習を履修し修得することが必須条件です。		
研究指導内容とその進め方/Teaching system and content Ⅰ. 初年度（3年次）/First year(third-year students) <b>★4年次に公立学校教員採用試験を受験する意思があることが受講の必須条件になります</b> 1. ガイダンス：受験する公立学校教員採用試験のスケジュール確認とそれまでの準備について解説をおこなう 2. 各人の進路の把握：学生一人一人の受験する教科と都道府県の確認をおこなう 3. 公立学校教員採用試験の勉強会への参加 4. 模擬授業及び教育論作文の基礎と演習  ----- Ⅱ. 次年度（4年次）/Second year (fourth-year students) <b>★4年次に公立学校教員採用試験を受験する意思があることが受講の必須条件になります</b> 1. 受験する公立学校教員採用試験のスケジュール確認と卒論の作成方法、作成スケジュールを作成する 2. 公立学校教員採用試験の勉強会への参加（2次試験対策も含む） 3. 卒業論文のテーマ、目次案、要約を作成する 4. 卒業論文の作成をすすめる 5. 個別にキャリア指導・就職指導をおこなう 6. 卒業論文の提出及び発表会での発表  ----- Ⅲ. 卒業論文の指導、その他指導について/Graduation thesis guidance and others  卒業論文はA4 20ページ以上 テーマは教育の関連分野とする		
教科書、参考書などについて/Textbooks, reference books  受験する公立学校教員採用試験に関する参考書、過去問題集、関連する書籍及び雑誌 それ以外の教育関連分野の書籍はその都度指示します		
ゼミライフ：(合宿、ゼミ会等)/Seminar activities(meetings, training camps)  合宿・ゼミ会はゼミ生と相談して決める（ゼミ生が主体となって企画する）		
ゼミ生に対する要望・注意等/Requests, comments 公立学校教員採用試験に合格することは非常に大変なことです。しっかりと試験対策も覚悟もできていない状態で「教員」という選択をして、希望通りにいかないという可能性も大きいので、志望動機を重視しますが教育実習派遣に関わるGPA基準（通算でGPA2.0）以上であること。加えて出席状況も重視します。 採用試験に不合格であっても、教員免許を取得して卒業後に臨時任用講師などの職に就き、翌年以降の合格を目指す学生の受講を切に望みます（ただし、それを強制するものではありません）。		